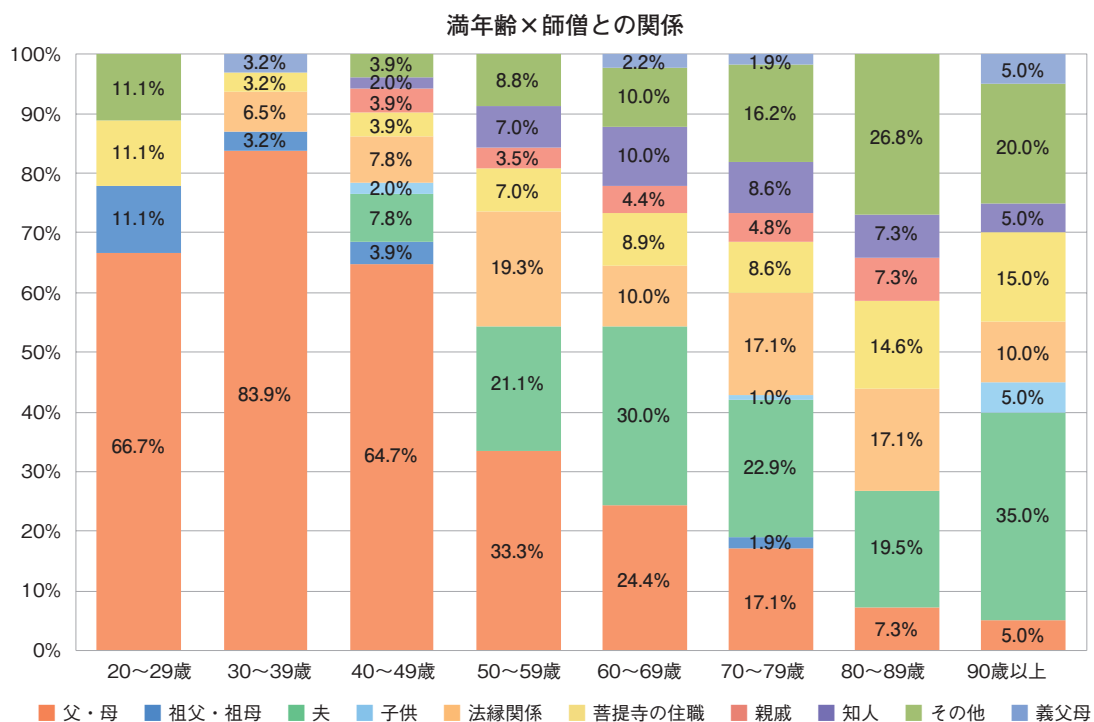


クロス集計結果

ここまでは主として単純集計の結果を報告してきた。ここからは女性教師の多様な姿を明らかにするためのクロス集計結果を提示する。分析の軸となるのは満年齢、出家時の立場（教師の妻、教師の娘、在家など）、教師歴（推定値）などが信行道場入場動機、師僧との関係、役職経験、管区行事等への参加状況、女性教師関連団体への参加状況などとの関連である。なお本節では一部を除き、欠損値（無回答を含む無効回答）を除く有効回答数で統計処理している。

満年齢

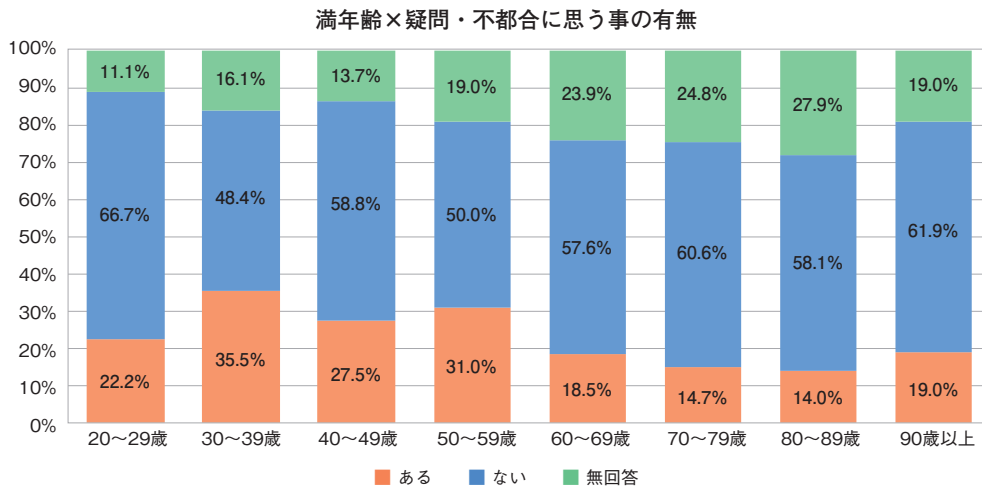
■ 師僧との関係：40代以下は「父母が最多」



「2-②出家時のあなたの師僧との関係は何ですか」を満年齢別に確認すると、50代以降は「夫」が増え、60・70・90代で最多となる（「その他」を抜かせば80代でも最多）。寺庭婦人から出家得度している女性教師が一定数存在することを示している。

また、40代以下は「父・母」を師僧とする女性教師が多数を占めている。20代はサンプルサイズが小さいが（有効回答数9）、30代83.9%、40代64.7%の師僧は「父・母」であった。若い世代の女性教師の多くは教師の娘である。

■ 疑問・不都合に思う事の有無：「ない」が最多で年齢が上がるにつれ「無回答」も上昇

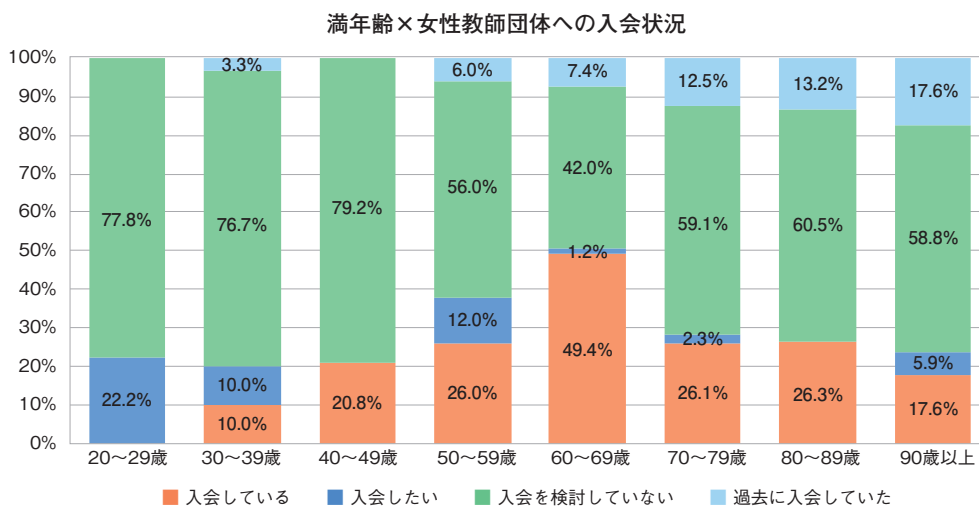


	ある	ない	無回答
20～29歳	2	6	1
30～39歳	11	15	5
40～49歳	14	30	7
50～59歳	18	29	11
60～69歳	17	53	22
70～79歳	16	66	27
80～89歳	6	25	12
90歳以上	4	13	4

「フー①女性教師として疑問に思う事、不都合に思う事がありますか」は欠損値（空白）も含めて集計した。この設問の自由解答欄では「ここには書けない」などの記述が多く見られたためである。

すべての年代で「ない」が最多であるものの、年齢が上がると空欄が増えていた。30代のみ「ない」が半数以下となっているが、以降は50～60%強で推移する。キャリアを積み始める頃に壁に当たることの現れであると推察される。

■ 女性教師団体への入会状況：40代以下と50代以上で回答傾向に差

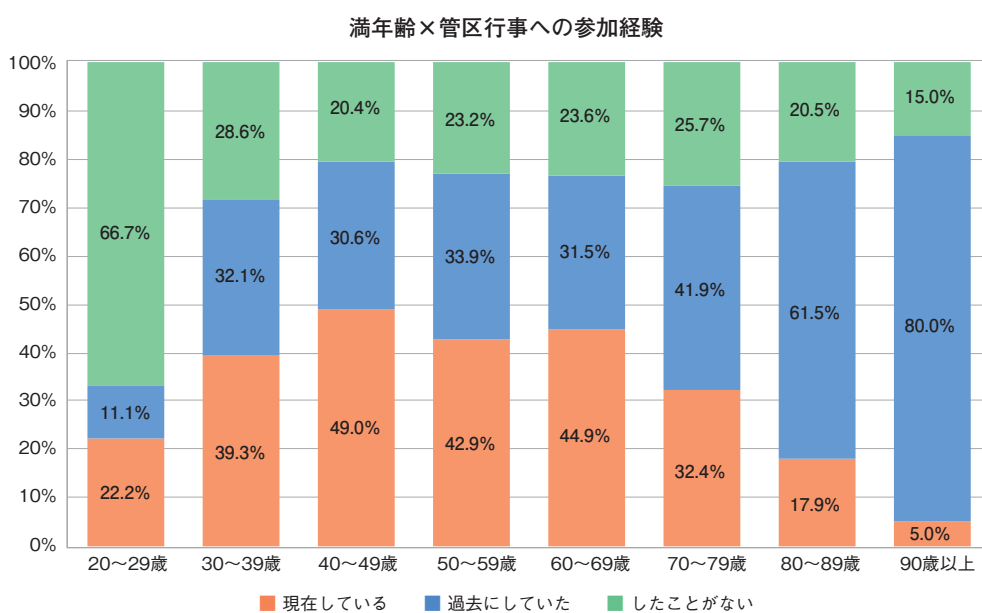


	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
入会している	0	3	10	13	40	23	10	3
入会したい	2	3	0	6	1	2	0	1
入会を検討していない	7	23	38	28	34	52	23	10
過去に入会していた	0	1	0	3	6	11	5	3

女性教師の団体には「日蓮宗尼僧法団」や「全国日蓮宗女性教師の会」などがある。「7-④女性教師の組織に入会していますか、もしくは入会したいですか」では、60代は現在になかしの団体に参加している者が約半数となっているが、更に年齢を重ねると「過去にしていた」との回答が増加する。自由記述欄の回答でも、高齢のため参加が難しくなったためとの声が寄せられていた。

「入会を検討していない」はどの年代でも最多であるが、特に若い世代で顕著であり、40代以下の約8割はそのように答えている。この理由として推測されることは、40代以下に多い教師の娘（父・母を師僧としている女性教師）は親世代から受け継いだ横のつながりがすでにあるため、女性教師団体への入会に結びつかない可能性である。これについては「信行道場入場時の立場」と「女性教師団体への入会状況」で改めて確認したい。

■ 管区行事への参加経験：40～60代の高い参加率

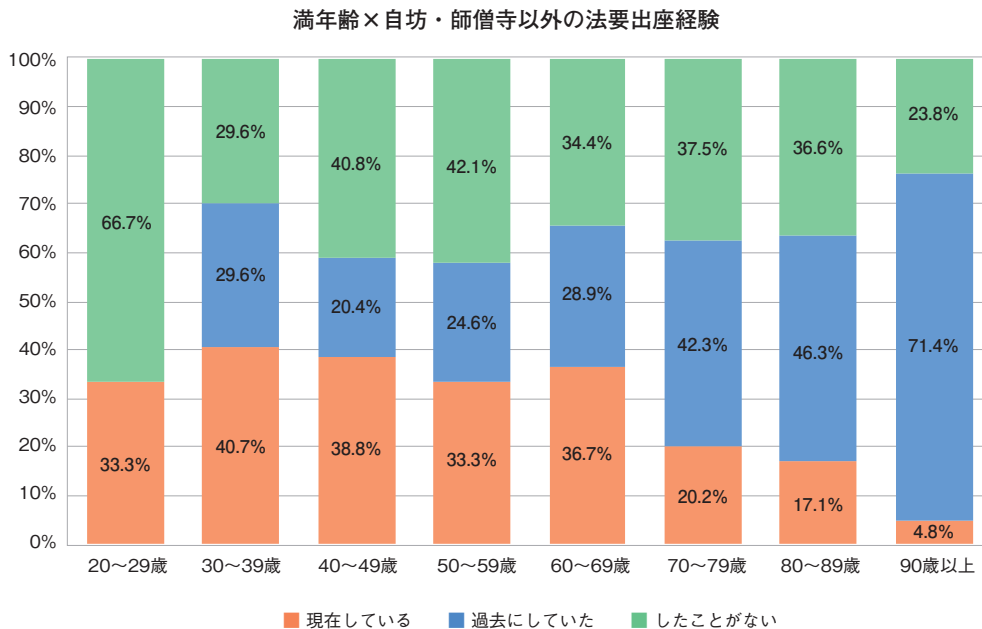


	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
現在している	2	11	24	24	40	34	7	1
過去にしていた	1	9	15	19	28	44	24	16
したことがない	6	8	10	13	21	27	8	3

「5-③所属している管区の行事に参加していますか」は、やはり年齢を重ねると「過去にしていた」が増える。40、50、60代では「現在している」がそれぞれ49.0%、42.9%、44.9%と高い

水準を示している。30代は約4割が「現在している」と回答しているが、一方で「過去にしていた」32.1%となるのは、子どもがいる場合、この年代が乳幼児の育児期と重なることが多いことと関連する可能性がある。

■ 自坊・師僧寺以外の法要出座経験：経験の二極化



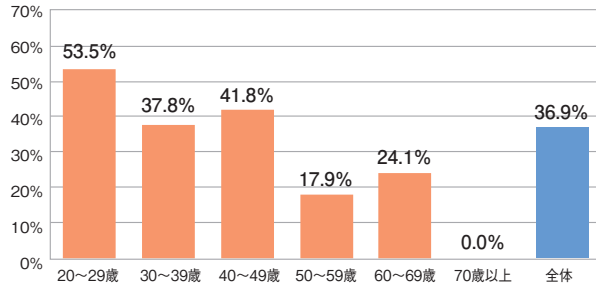
	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
現在している	3	11	19	19	33	21	7	1
過去にしていた	0	8	10	14	26	44	19	15
したことがない	6	8	20	24	31	39	15	5

「5-④自坊や師僧寺以外の法要に出座していますか」も、管区行事同様、年齢が上がると「過去にしていた」が増えていく。30代、40代、50代、60代は「現在している」がそれぞれ40.7%、38.8%、33.3%、36.7%となっている。「したことがない」もそれぞれ29.6%、40.8%、42.1%、34.4%となっており、経験の二極化が生じている。

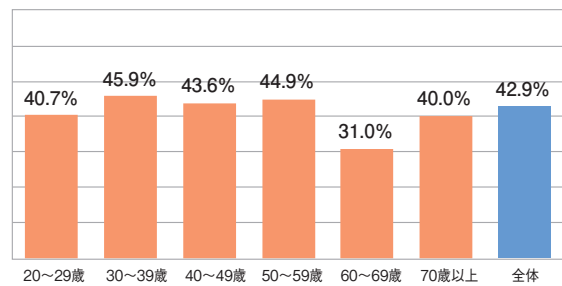
信行道場入場時の年齢

■ 信行道場入場動機：「寺の後継」は40代以下に多い

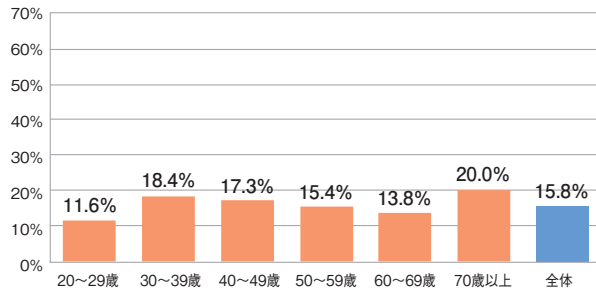
信行道場入場時年齢×入場動機
寺の後継



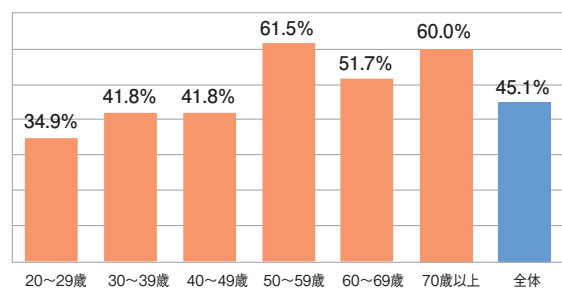
信行道場入場時年齢×入場動機
住職の手助け



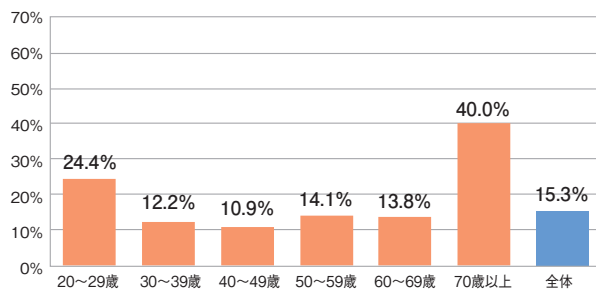
信行道場入場時年齢×入場動機
布教



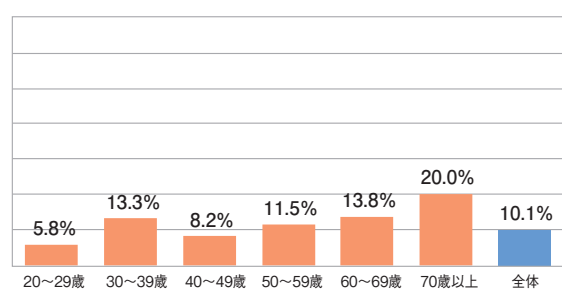
信行道場入場時年齢×入場動機
自分の修行のため



信行道場入場時年齢×入場動機
資格取得の一つとして



信行道場入場時年齢×入場動機
その他



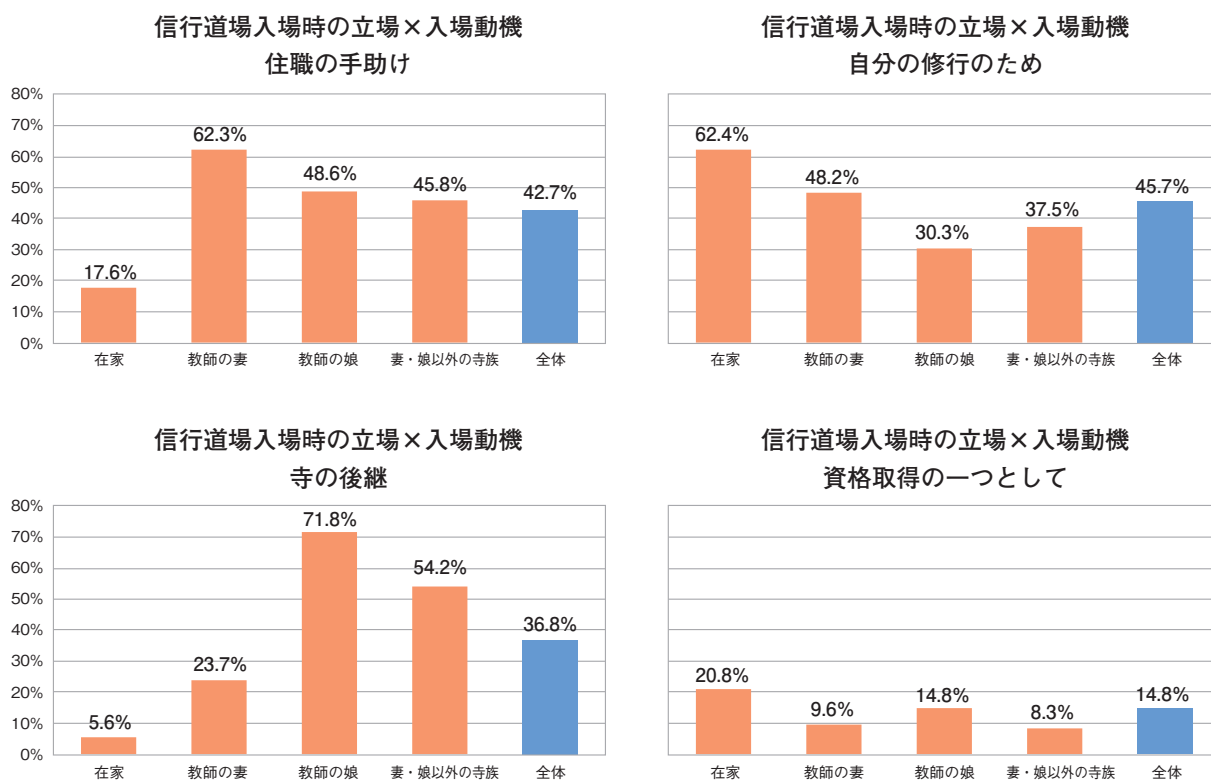
	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
住職の手助け	35	45	48	35	9	2
寺の後継	46	37	46	14	7	0
布教	10	18	19	12	4	1
自分の修行のため	30	41	46	48	15	3
資格取得の一つとして	21	12	12	11	4	2
その他	5	13	9	9	4	1

「3-⑤信行道場に入場の動機（複数回答可）」は、信行道場の門をくぐった年齢との関連を確認したい。年代によるばらつきが大きかったため、それぞれの動機を分割して示す。

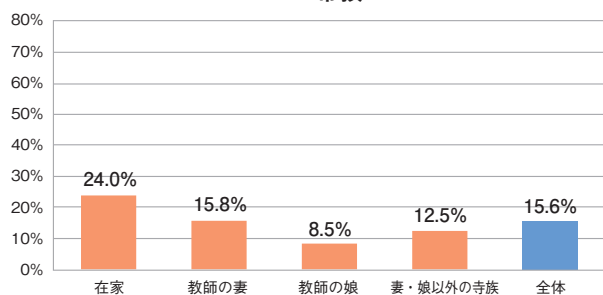
「住職の手助け」や「布教」は信行道場入場時の年齢による違いは少なく、「全体」とも大きな差はない。「寺の後継」は明らかに40代以下に偏り、「自分の修行のため」は50代以上が全体を引っ張っている。特に20代での信行道場入場は過半数が「寺の後継」を動機としている。また20代で24.4%が「資格取得の一つとして」と回答していることから、将来後継になる可能性を踏まえて入場している者が一定数いることが予想される（なお、70代以上でも「資格取得」の割合は高いが、総数が少ないので実際を反映していない可能性に留意しておく必要がある）。30代の自由回答欄を確認すると、「息子が継ぐまで」「息子の手助け」といった回答が散見される。50代以上で「自分の修行」が半数を超えているのは、子育てが一段落した後に自分自身の問題として修行に行こうと考える者が少なくないことの現れであろう。女性のライフコースに着目するのであれば、「寺の後継」や「自分の修行」で40代以下と50代以上で回答行動に違いが見られることは重要なポイントになりうる。

信行道場入場時の立場

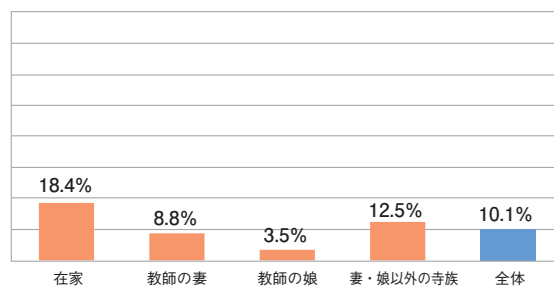
■ 信行道場入場動機：在家出身者と寺族の違いが顕著



信行道場入場時の立場×入場動機
布教



信行道場入場時の立場×入場動機
その他

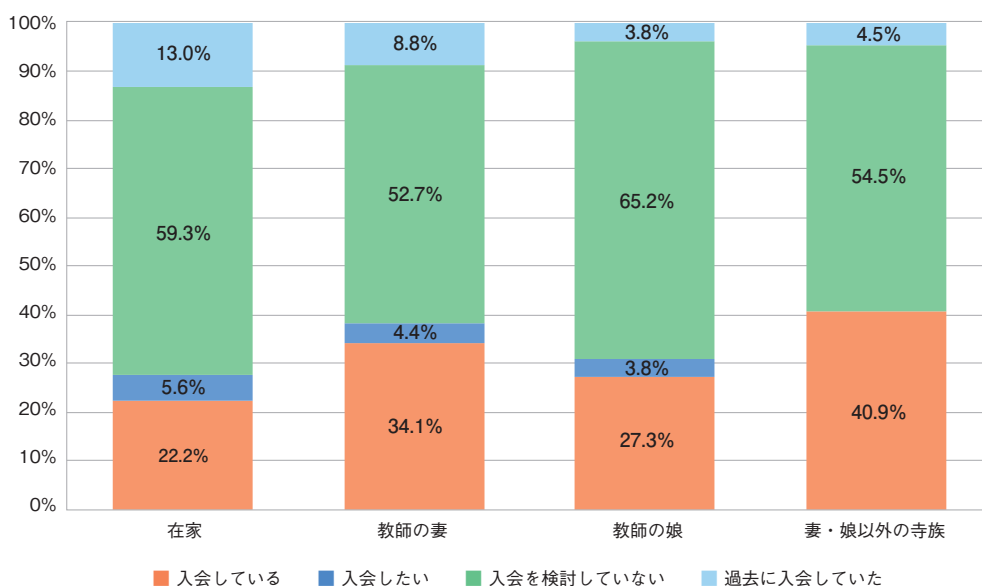


	在家	教師の妻	教師の娘	妻・娘以外の寺族
住職の手助け	22	71	69	11
寺の後継	7	27	102	13
自分の修行のため	78	55	43	9
資格取得の一つとして	26	11	21	2
布教	30	18	12	3
その他	23	10	5	3

「3-⑤信行道場に入場の動機（複数回答可）」と信行道場入場時の立場（在家、教師の妻、教師の娘、妻・娘以外の寺族）別に確認すると、回答行動に顕著な違いが見られた。「住職の手助け」は教師の妻をはじめ寺族に偏っている。「寺の後継」は教師の娘が7割を超えており、妻・教師以外の寺族も過半数であった。在家出身で信行道場に入場している者の最多の理由は「自分の修行のため」であり62.4%となっている。俗縁により教師となることを志した者と、在家から教師になることを志した者での入場動機には傾向の違いがあることが見て取れよう。

■ 女性教師団体への入会状況：65%の「教師の娘」は入会検討せず

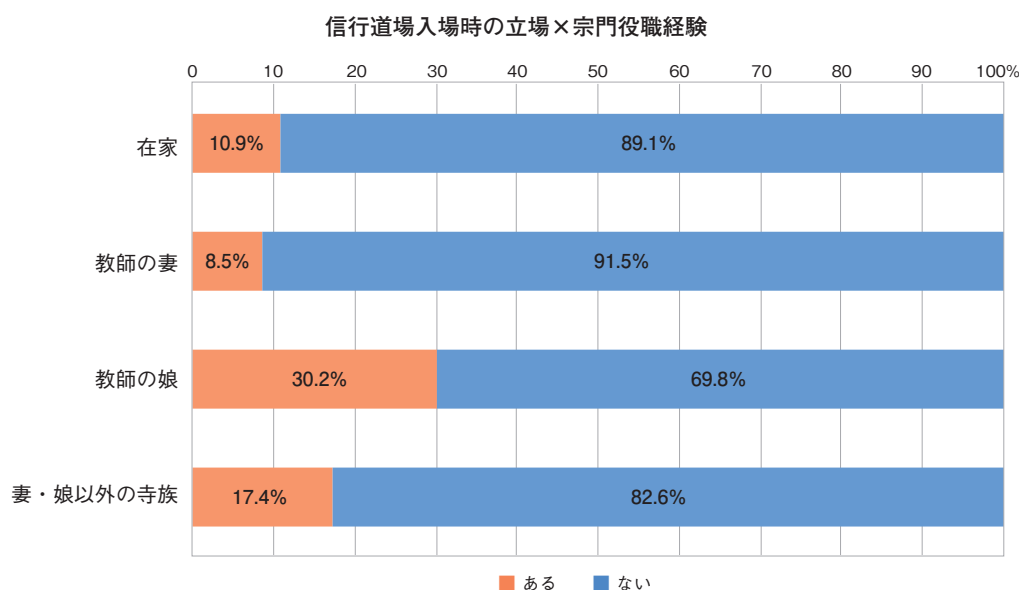
入場時の立場×女性教師団体への入会状況



「7-④女性教師の組織に入会していますか、もしくは入会したいですか」を信行道場入場時の立場別に確認すると、「教師の娘」の65.2%は「入会を検討していない」であることが確認できる。女性教師団体への入会を検討しない理由として全ての立場で挙げられていたのは、女性だけで集まる必要性を感じない、格差がある、自坊の法務に忙しい、高齢や病気、家事育児があるためなどがあった。教師の娘の回答では、それらに加えて「宗務所、日青会等、すでに複数の組織で活動している為」など別の組織に参加している（参加予定である）ことが散見される。教師として活動する地盤・基盤を親世代などから継承される場合、女性だけの組織に参加する必要性が生じにくいと思われる。「入会している」と答えている女性教師の自由解答欄には、「全く何の組織にも入っていないと、情報がなかなか手に入らない」「女性教師一個人ではなかなか行動するのが難しく、情報等も入手しにくい為」など、情報交換や交流など「つながり」を求めているという意見が多数みられたことも、これと関係するだろう。

「在家」の「過去に入会していた」は高齢の者が多いことの現れであると考えられるが、とはいえ59.3%が「入会を検討していない」と回答している意味も考えていく必要があるだろう。いくつかある自由解答欄の記述には「格差があり差別される」「寺を持っているか否かではっきり区別がついている」などの意見があったことは受け止めなくてはなるまい。

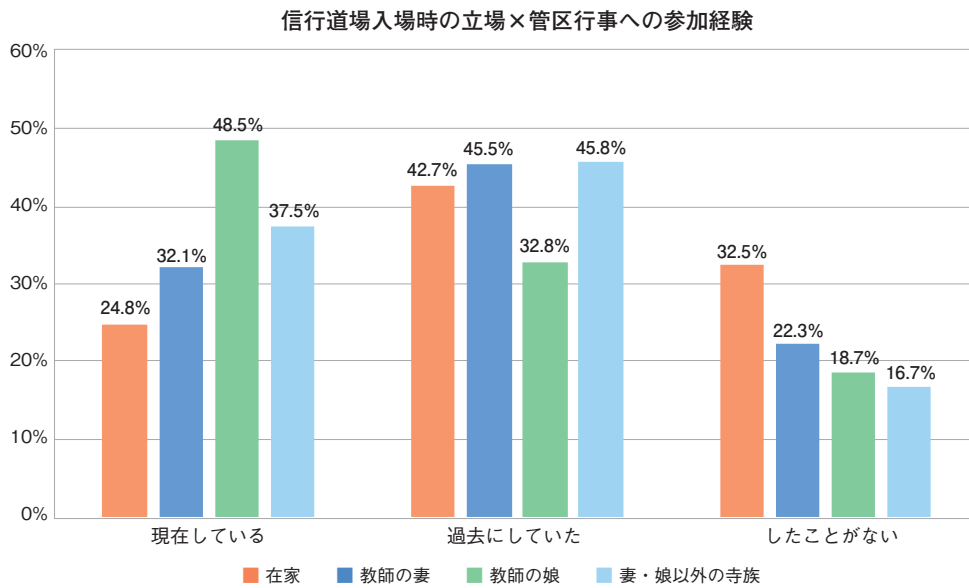
■ 宗門役職経験：「教師の娘」とそれ以外に大きな差



	在家	教師の妻	教師の娘	妻・娘以外の寺族
ある	12	9	38	4
ない	98	97	88	19

18頁でも示したが、女性教師の大多数は管区内外で宗門の役職に就いた経験を持たない。しかし「5-⑥管区内外で宗門の役職に就いたことがありますか」を信行道場入場時の立場別に確認すると「教師の娘」の30.2%は役職経験ありと回答していることがわかる。

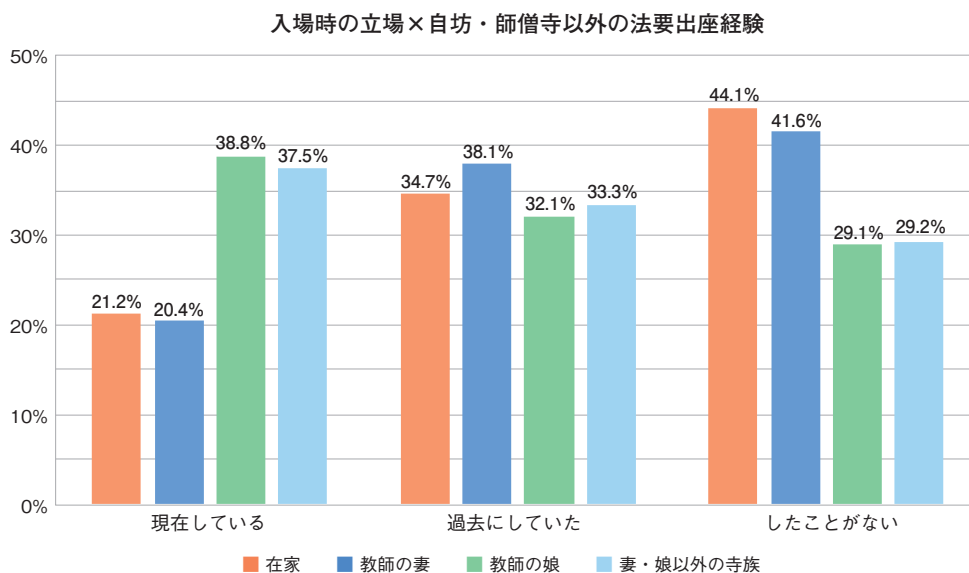
■ 管区行事への参加経験：在家出身者は「したことがない」が最多



	在家	教師の妻	教師の娘	妻・娘以外の寺族
現在している	29	36	65	9
過去にしていた	50	51	44	11
したことがない	38	25	25	4

「5-③所属している管区の行事に参加していますか」について、信行道場入場時の立場ごとの最多をわかりやすくしたものが上記のグラフである。立場による傾向の違いは明らかであり、教師の娘は48.5%と約半数が「現在している」と回答している。「過去にしていた」も合わせると81.3%に上る。対して、在家出身者は32.5%が「したことがない」と答えており、他のグループに比べて明らかに割合が高い。

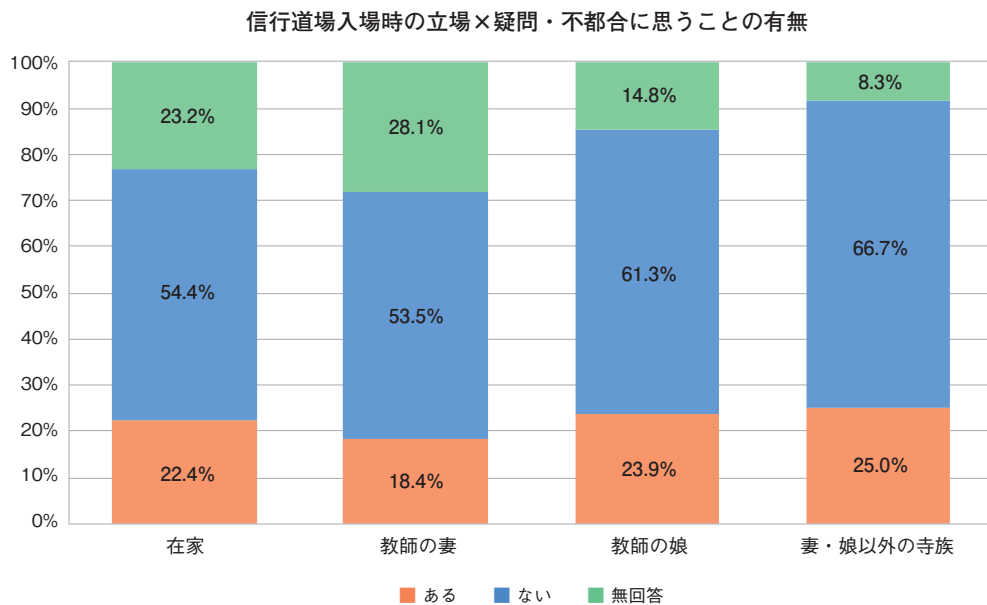
■ 自坊・師僧寺以外の法要出座経験：「在家」「教師の妻」と「教師の娘」「それ以外の寺族」で傾向がわかる



	在家	教師の妻	教師の娘	妻・娘以外の寺族
現在している	25	23	52	9
過去にしていた	41	43	43	8
したことがない	52	47	39	7

「5-④自坊や師僧寺以外の法要に出座していますか」を確認しても、教師の娘、妻・娘以外の寺族はそれぞれ38.8%、37.5%が「現在している」と回答しているのに対し、在家出身者の44.1%は「したことがない」と回答している。興味深いのは「在家」と「教師の妻」が似た回答傾向を示していることである。教師の娘は経験を積む機会に恵まれているが、在家出身者と教師の妻はそれらの機会を得ることが難しいことが推察される。

■ 疑問・不都合に思うことの有無：「在家」「教師の妻」で目立つ無回答



	在家	教師の妻	教師の娘	妻・娘以外の寺族
ある	28	21	34	6
ない	68	61	87	16
無回答	29	32	21	2

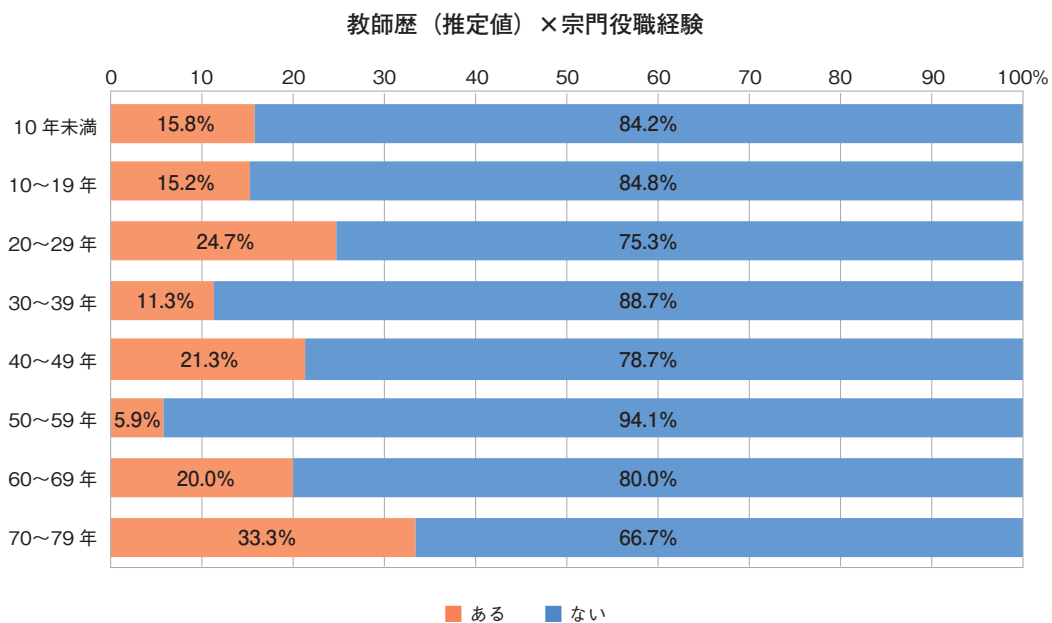
満年齢と同様、「7-①女性教師として疑問に思う事、不都合に思う事がありますか」と信行道場入場時の立場でも欠損値（空白）も含めて集計した。「ない」がどの立場でも最多ではあるが、空白が在家出身と教師の妻で多い。

教師歴（推定値）

ここまで主に「満年齢」と「信行道場入場時の立場」が教師としての活動にどのような影響を与えているのかを確認してきた。40代以下では「父・母」を師僧とする女性教師が多く、この年齢層では女性教師関連団体への入会の意欲は低い。また信行道場入場時の年齢が40代以下では、入場動機として「寺の後継」が多く、50代以上では「自分の修行のため」が増加する。信行道場入場時の立場では、教師の娘たちは経験を積む機会に恵まれている傾向が認められるが、在家出身者は役職経験や管区行事や法要出座経験を得る機会が乏しいことが指摘できる。

本節では「教師歴」に着目してみたい。これは質問票にはない指標であり、満年齢から信行道場入場時年齢を引いた推定値となる。キャリアを重ねることが役職経験や行事・法要への出座経験につながっているのかを確認する。

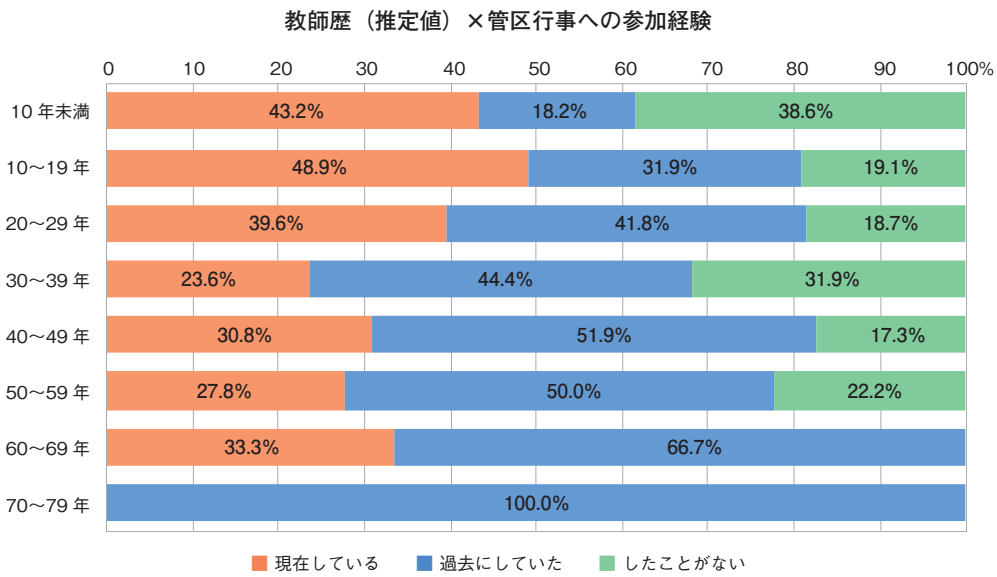
■ 宗門役職経験：長いキャリアが必ずしも役職経験に結びつかない



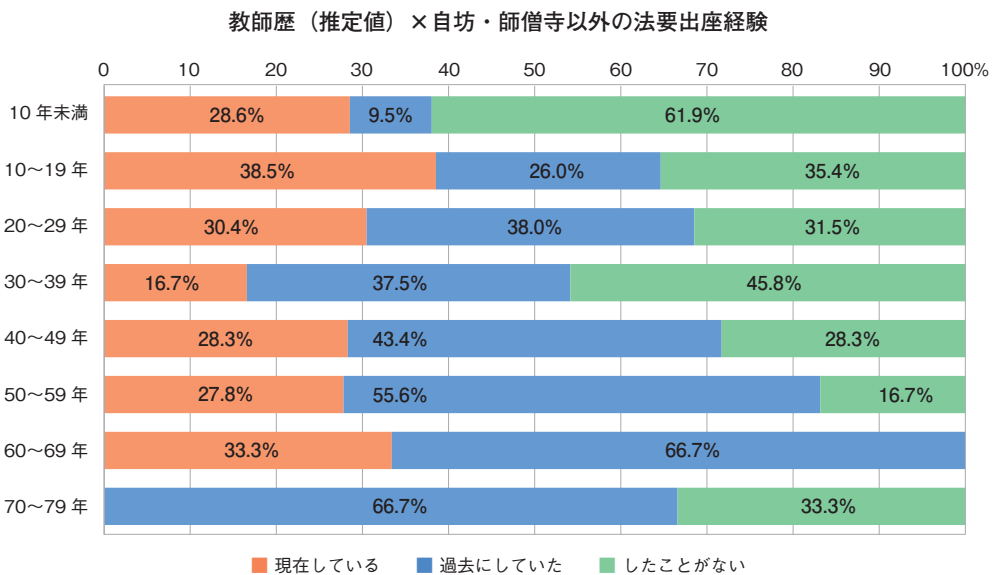
	10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60～69年	70～79年
ある	6	14	21	8	10	1	1	1
ない	32	78	64	63	37	16	4	2

「5-⑥管区内外で宗門の役職に就いたことがありますか」と教師歴別で見ると、必ずしも長いキャリアが役職経験に結びついていないことがわかる。教師歴20～29年の層では24.7%が「あり」と答えているが、約1/4に留まっている。

■ 管区行事への参加経験・法要出座経験：10～29年で目立つ「過去にしていた」



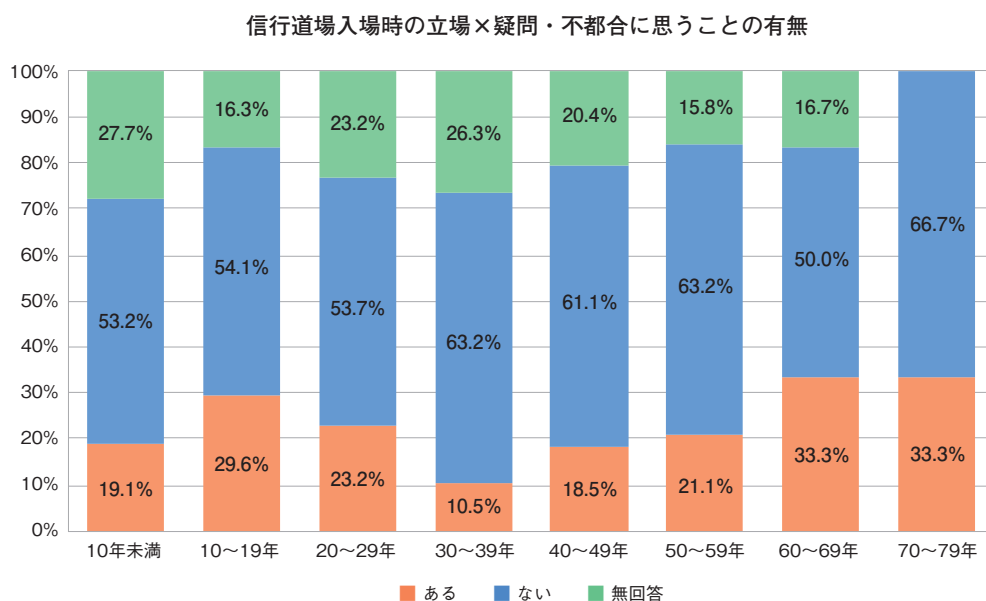
	10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60～69年	70～79年
現在している	19	46	36	17	16	5	2	0
過去にしていた	8	30	38	32	27	9	4	3
したことがない	17	18	17	23	9	4	0	0



	10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60～69年	70～79年
現在している	12	37	28	12	15	5	2	0
過去にしていた	4	25	35	27	23	10	4	2
したことがない	26	34	29	33	15	3	0	1

「5-③所属している管区の行事に参加していますか」と「5-④自坊や師僧寺以外の法要に出座していますか」では、教師歴30年未満の「現在している」がやや目立つ。なお教師歴50年以上は年齢も高くなるが、それでも「現在している」が一定数いることは注目に値しよう。

■ 疑問・不都合に思うことの有無：ベテラン層からの厳しい声



	10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60～69年	70～79年
ある	9	29	22	8	10	4	2	1
ない	25	53	51	48	33	12	3	2
無回答	13	16	22	20	11	3	1	0

「7-①女性教師として疑問に思う事、不都合に思う事がありますか」については、教師歴20～39年の層は無回答が目立つが、教師歴が浅い層とベテラン層で「ある」がやや多く見られた。ベテラン層の自由解答欄には、「世間から認められない」（教師歴50～59年）、「まだまだ女性の方が様々な機会が少ない」（教師歴40～49年）、「男社会の体制がなかなか変わらない」（教師歴40～49年）など、教師人生で直面した性差別的な出来事や経験を積む機会の乏しさが指摘されていた。教師歴が浅い層でも「一部で女性に対しての上から目線」（教師歴20～29年）、「地方では女性教師を教師として認めない風潮のある地域があると聞きます」（教師歴10年未満）、「管区で活躍されているのはどうしても男性のお上人方で、ステップアップのチャンスも多い。女性はどうしても補佐的な役割になる」（教師歴10年未満）といった意見の他、育児や家事との両立に困難を抱えているという声も多く聞かれた。